

平成23年度 家庭教育実態調査 結果報告書（概要版）

【「平成23年度 家庭教育実態調査」について】

（1）調査の目的

この調査は、家庭教育支援の効果的な方策について検討を進める上での参考とするため、現在小学校3年生の子どもを持つ親を対象に、家庭における教育の実態、親の意識やニーズ等を調査したものです。

（2）調査方法

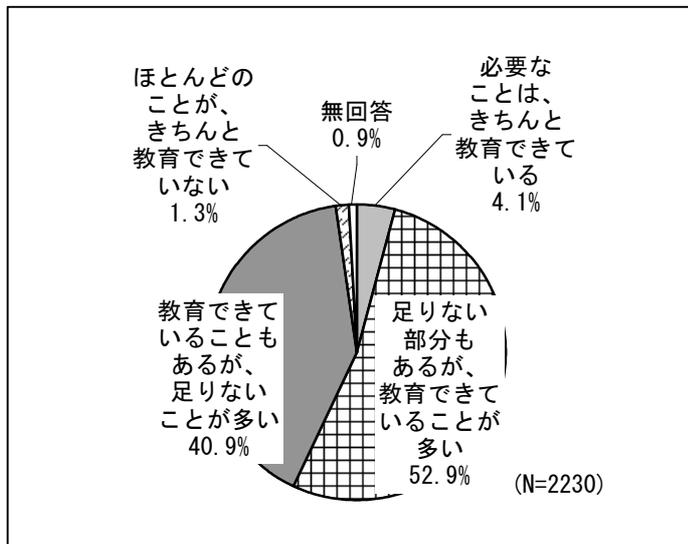
- （1）調査地域 静岡県全域（全35市町から24市町を抽出）
- （2）調査対象 小学校3年生の保護者（日ごろ家庭教育を行うことが多い保護者）
- （3）標本数 2,380人（35人（1クラス）×68学級）
- （4）抽出方法
ア 回収数を1,900人前後と設定し、1学級28人（35人の80%）回収として必要な学級数（68学級）を算出
イ 県全体を7地区に分け、地区内の市町の位置、各市町の小学生の人数分布等を考慮して、市町に割振
ウ 調査は1学校1学級とし、バランスを考えて学校を決定
- （5）調査方法 選択肢方式、全20問
- （6）調査期間 平成23年7月1日～平成23年7月11日

（3）回収率

配布数	有効回収数	有効回収率
2,380	2,230	93.7%

1 家庭教育（しつけ等）の状況について、自分ではどのように思うか（問8）

◆『子どもへの家庭教育（しつけ等）の状況』については、「教育できている」が約6割。

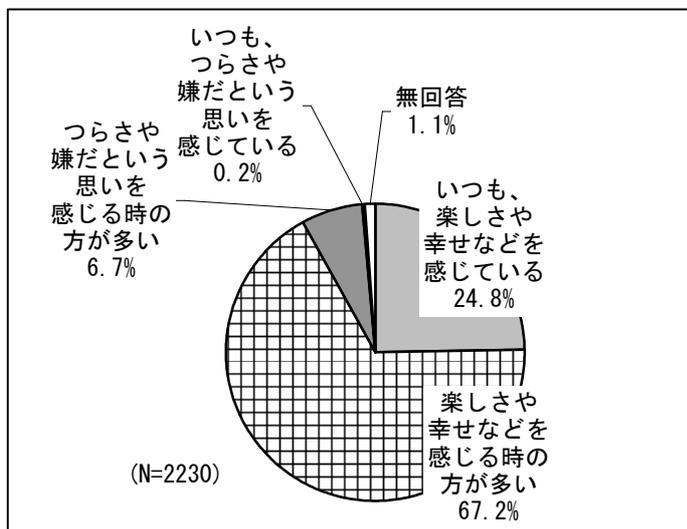


【概要】

『子どもへの家庭教育（しつけ等）の状況』については、「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」が最も多く、「必要なことは、きちんと教育できている」と合わせると、「教育できている」と感じている層が6割近くとなっている。

2 子どもとのかかわり全体について、どのように感じているか（問11）

◆子どもとのかかわることを「楽しい」と思う親は約9割。

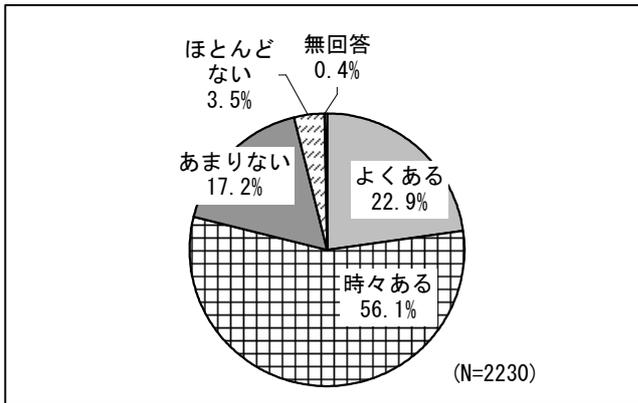


【概要】

『子どもとのかかわり』については、「楽しさや幸せなどを感じる時の方が多い」が最も多く、次いで多い「いつも、楽しさや幸せなどを感じている」と合わせると、これら2項目で9割を超えている。

3 子育ての中で、悩んだり不安になったりすることがあるか（問12）

◆子育ての悩み不安は、約8割が「あり」。



【概要】

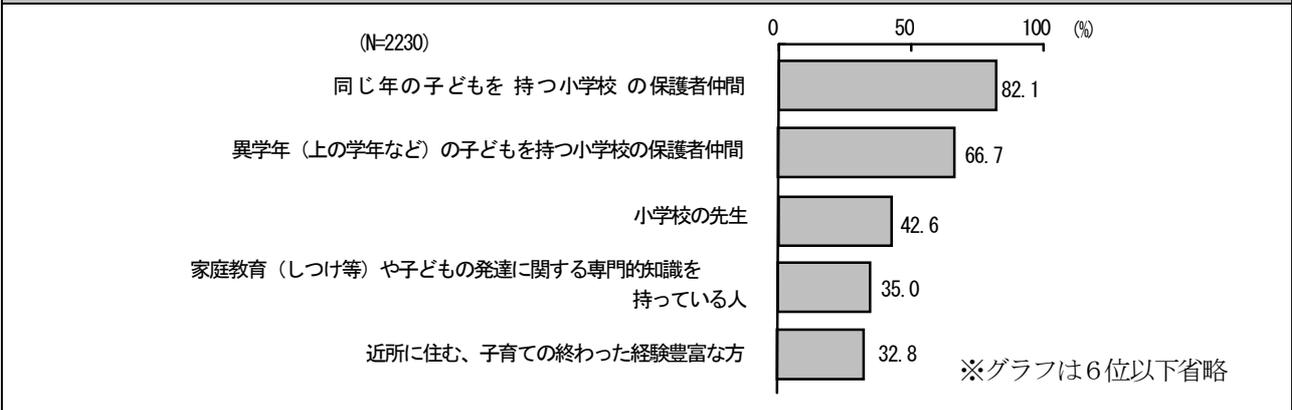
『子育ての中で、悩んだり不安になったりすることがあるか』については、「時々ある」が過半数で最も多く、次いで多い「よくある」と合わせると、これら2項目で約8割となっている。

※ 『悩んだり、不安になったりする理由』（あてはまる選択肢は全て選択）については、「自分の子育てが正しいかどうか自信が持てない」が47.8%、次いで「忙しく、余裕を持って子どもに接することができない」が45.8%で上位を占めている。

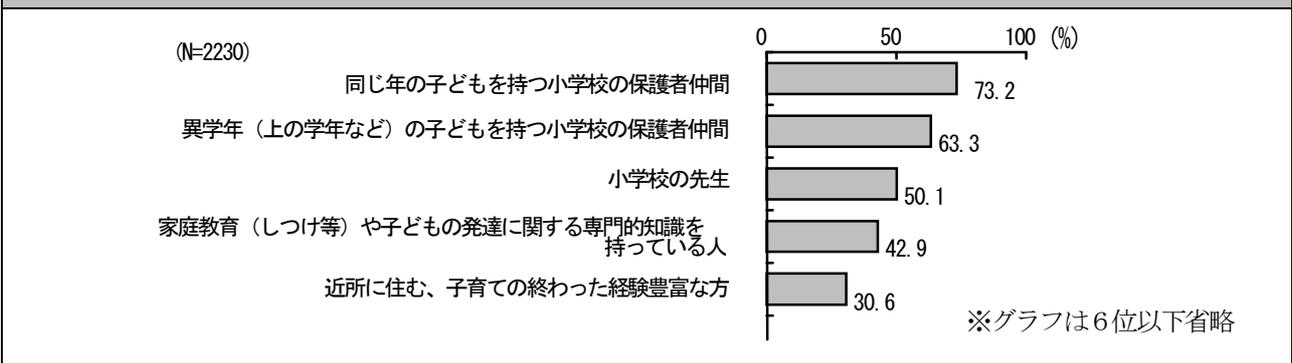
4 子育てについて話を聞いてもらいたい人、相談したい人は（問16・17）

◆「話を聞いてもらいたい人」「相談したい人」とも、「同学年の保護者仲間」「異学年の保護者仲間」、「小学校の先生」が上位3位。

問16 これから、子育てについて話を聞いてもらおう（ぐちを聞いてもらおう、ちょっとしたアドバイスをもらおうなど）ならどのような人がいいか（上位3位まで選択）。

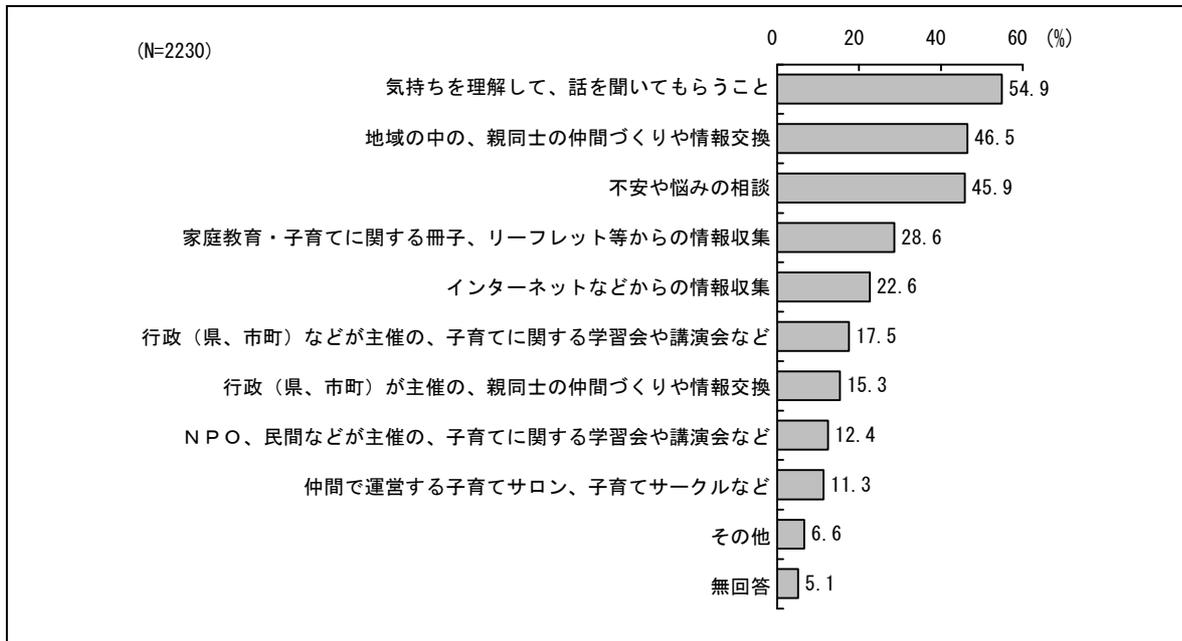


問17 これから、子育てについて相談をするならどのような人がいいか（上位3位まで選択）。



5 あなたが今後参加したいものは何か（上位3位まで選択）（問19）

◆「話を聞いてもらう」「仲間づくりや情報交換」「不安や悩みの相談」など、直接人との接点がある活動を希望する割合が高い。

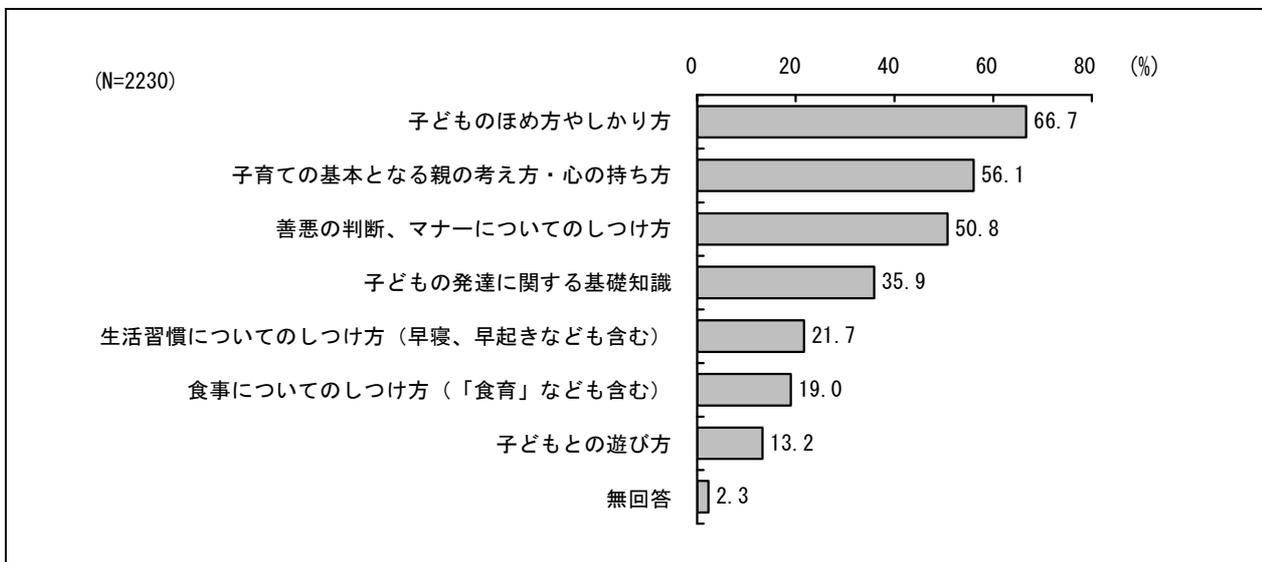


※「母」（2,089人）の上位は、順に「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」（55.6%）、「不安や悩みの相談」（46.4%）となっている。

※「父」（126人）の上位は、順に「地域の中の、親同士の仲間づくりや情報交換」（47.6%）、「気持ちを理解して、話を聞いてもらうこと」（43.7%）となっている。

6 アドバイス・学習希望の内容は（あてはまるもの全て選択）（問20）

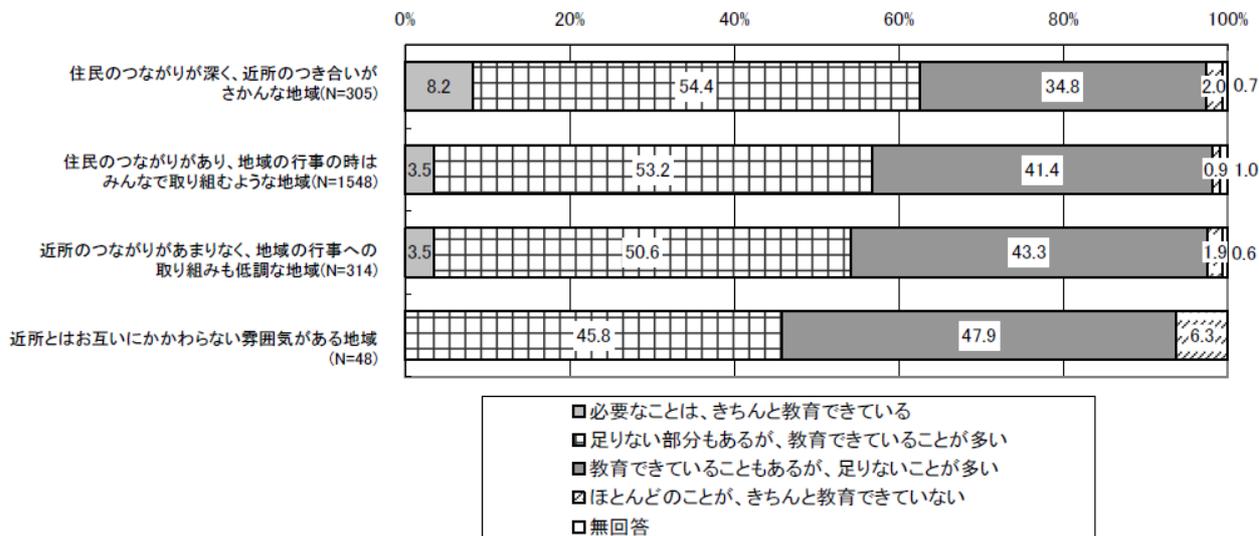
◆「ほめ方しかり方」「親の基本的な心構え」「善悪判断・マナー」が上位3位。



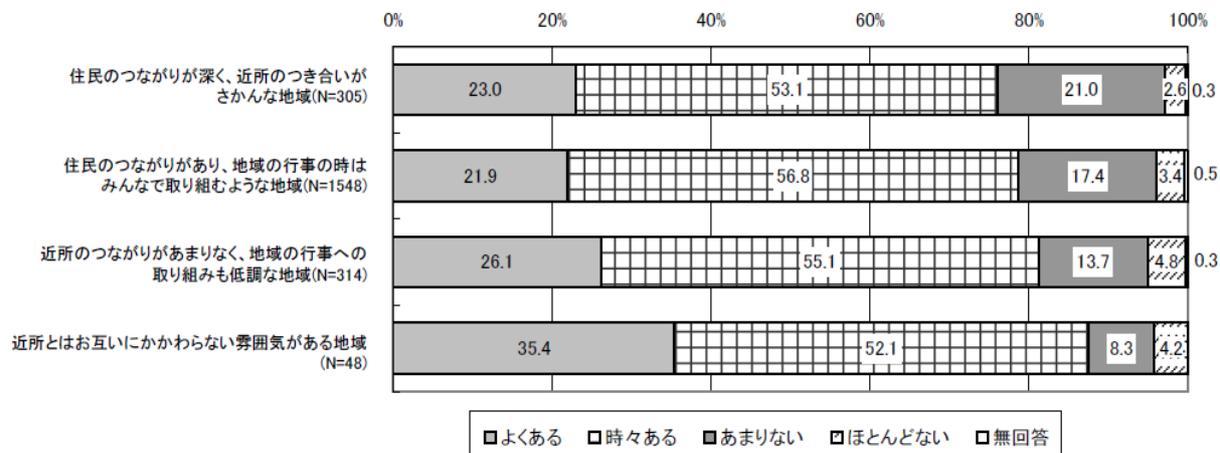
7 地域とのつながりについて（問8・12）

◆ 住民のつながりが深い地域に住む方が、教育への自信を持ち、子育てへの悩み・不安も少ない傾向あり。

問8 家庭教育（しつけ等）の状況について、自分ではどのように思うか



問12 子育ての中で、悩んだり不安になったりすることがあるか



【概要】

（問8）地域のつながりが深いと答えた親ほど、「教育できている」（「必要なことは、きちんと教育できている」と「足りない部分もあるが、教育できていることが多い」とを合わせた回答）と答える割合が高くなる。

（問12）地域のつながりが深いと答えた親ほど、悩み・不安が「あり」（「よくある」「時々ある」を合わせた回答）と答える割合が低くなる。